

「全国中小企業クラウド実践大賞 2022」の募集について

1. 開催概要

中小企業・小規模事業者等が、クラウドサービスの利活用により、生産性向上・経営効率化などの推進を宣言する「自己宣言」と、これらの実践事例から、クラウドサービスの導入を検討している中小企業等への実践モデルとなるような、優れた提案に対して総務大臣賞、全国商工会連合会会長賞等を贈る「コンテスト」で構成しています。

参加者には、評価結果に応じたロゴマークが提供され、クラウドサービスを活用した生産性向上・経営効率化等の取り組みを、ホームページや会社案内等でアピールできます。参加者のロゴマークの活用により、他の中小企業等によるクラウドサービス導入の動機付けも促進します。

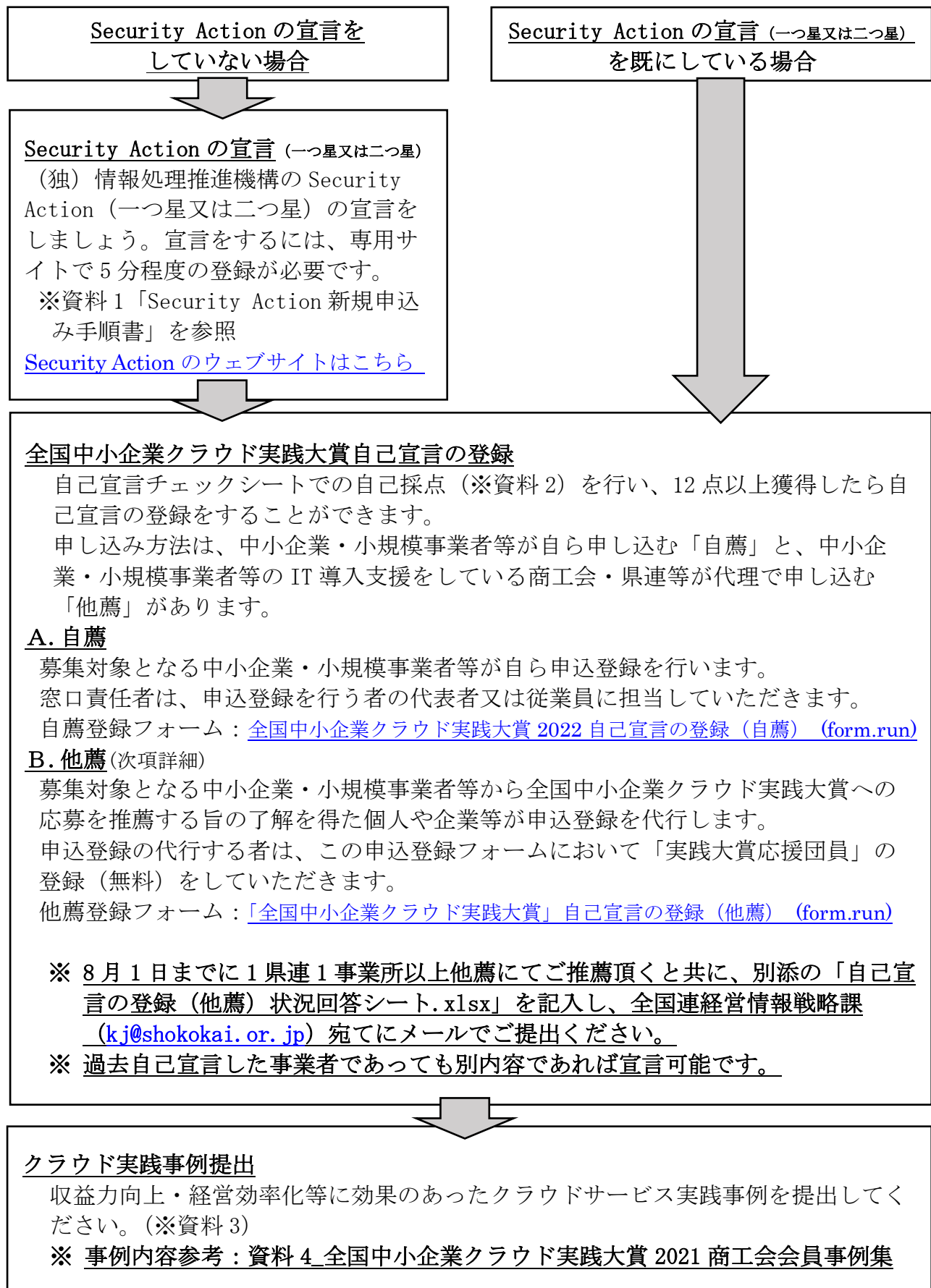
2. 審査基準等

自己宣言
「顧客満足度の向上」、「従業員満足度の向上」、「業務効率の改善」、「セキュリティ」、「マネジメントの積極的な参画」の5分野のチェック項目合計 12 点以上達成していれば、クラウドサービス活用の実践企業として自己宣言をすることができます。
モデル事例の選出
公募した実践事例から、「有用性」、「浸透度」、「意義」、「展開性」の観点から審査を行い、モデル事例を選定いたします。
クラウド実践コンテスト
上記 4 観点に加えて、デジタル技術の実装に向けた「熱意」を審査基準とし、審査会にて総合評価を行い、優良モデルの選出および各賞を決定いたします。

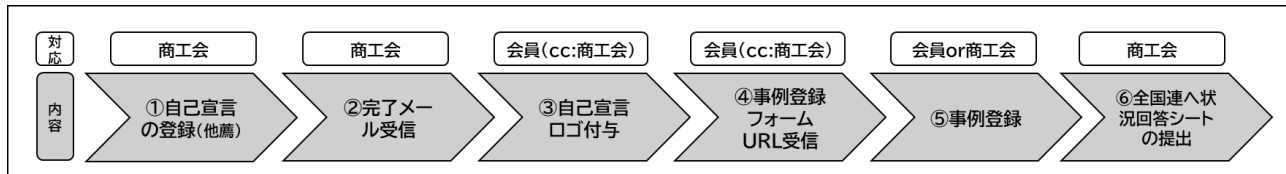
3. 今後のスケジュール(予定)

6月1日	「自己宣言」「クラウド実践事例」受付開始
8月1日	県連・商工会からの「自己宣言」登録（他薦）および登録状況報告期限 (8月1日以降も自己宣言登録は可能です。)
8月15日	「クラウド実践事例」登録受付締め切り
8月下旬	全国中小企業クラウド実践大賞地方大会進出企業発表
10月	全国中小企業クラウド実践大賞地方大会(オンライン)の開催 10/12(水): 関東・甲信越大会 10/14(金): 東海・北陸大会 10/21(金): 近畿・中国・四国大会 10/26(水): 九州・沖縄大会 10/28(金): 北海道・東北大会
12月	全国中小企業クラウド実践大賞全国大会(オンライン)の開催

4. 応募・推薦の流れ



5. 他薦の流れについて



【注意事項】

- ・登録時に提供いただいた情報は外部秘扱いとして管理され、そのまま公表されることはありません。公表する際は、事務局より改めて確認いたします。
- ・企業（組織）の基本データについては、ブランクや「・」を含めた登記上の表記とするなど登記簿情報等をもとに、正確に記入してください。

6. その他

全国中小企業クラウド実践大賞 URL : <https://cloudinitiative.jp/>

<コンテスト運営体制>

主催：クラウド実践大賞実行委員会

（構成員）全国商工会連合会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会

（一社）クラウド活用・地域 ICT 投資促進協議会【事務局】

（一社）クラウドサービス推進機構

（一社）日本デジタルトランスフォーメーション推進協会

共催：総務省

後援（申請予定分を含む）：

中小企業庁

(独法) 中小企業基盤整備機構

(独法) 情報処理推進機構

(一財) 全国地域情報化推進協会

(一社) 中小企業診断協会

(一社) テレコムサービス協会

(一社) 日本コンピュータシステム販売店協会

(特非) IT コーディネータ協会

(一社) IT 顧問化協会

Re:Innovate Japan

働き方改革推進コンソーシアム